

# 感染症情報 6月10日～16日

府下小児科196医療機関(堺市19)から

①手足口病	1,478例(堺市	150例)
②感染性胃腸炎	989例(堺市	85例)
③溶連菌感染症	792例(堺市	105例)
④ヘルパンギーナ	226例(堺市	23例)
⑤咽頭結膜熱	177例(堺市	21例)

府下304医療機関(堺市29)から

**インフルエンザ** 26例(堺市 2例)

報告数による順位。前週比1.9%減の3,977件であった。手足口病が府下で3%増、堺市で前週147例→今回150例であった。大阪府の定点あたりは7.33→7.54、堺市で7.74→7.89となり、大阪府では引き続き9ブロックで警報レベル開始基準値5を超えている。感染性胃腸炎が府下で前週比9%減、堺市で前週87例→今回85例。溶連菌感染症が府下で9%減、堺市で前週117例→今回105例。定点あたり、大阪府が4.04、堺市が5.53であった。ヘルパンギーナが府下で10%増、堺市で10例→23例であった。定点あたり大阪府が1.15、堺市が1.21であった。咽頭結膜熱が府下で8%増、堺市で前週14例→今回21例であった。

基幹定点だけが報告するが、マイコプラズマ肺炎が6週連続で10を超えている。大阪府が16例、うち堺市が2例であった。

インフルエンザが府下で前週40例→今回26例で前週比35%減であった。堺市で前週3例→今回2例であった。

府下304医療機関(堺市29)から

**新型コロナウイルス感染症** 943例(堺市 106例)  
大阪府定点 3.10 堺市定点 3.66

大阪府の年齢層別の報告数											
0歳	1歳から4歳	5歳から9歳	10歳から19歳	20歳から29歳	30歳から39歳	40歳から49歳	50歳から59歳	60歳から69歳	70歳から79歳	80歳以上	合計
32	48	47	171	85	70	99	115	83	103	90	943

新型コロナウイルス感染症の定点報告は、大阪府で前回724例→今回963例で30%増、定点あたり2.38→3.10。堺市で前週92例→今回106例は15%増、定点あたり3.17→3.66となった。

麻疹や風疹の報告なし。